

平成 22 年度 第 1 回安曇野市地域公共交通会議幹事会 会議概要

1	委員会名	安曇野市地域公共交通会議幹事会
2	日 時	平成 23 年 1 月 20 日(木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
3	会 場	県安曇野庁舎 401 会議室
4	出席者	奥山委員（幹事長）、中村委員（代）、川上委員、松田委員、小平委員、米倉委員 会田委員、槇石委員、山田委員、安藤委員、宮崎委員、曲淵委員、小林委員（代） 小岩井委員、耳塚委員、小倉委員（代）、務台委員、 事務局：野口、中村／NTT 1 名
5	公開・非公開の別	公開
6	記者	0 人
7	傍聴	0 人
8	会議概要作成年月日	平成 23 年 1 月 21 日

協 議 事 項 等

◎ 会議次第

- 1 開会（事務局小倉）
- 2 あいさつ（奥山幹事長）
- 3 議事
 - (1) 平成 23 年度地域公共交通協議会事業計画（案）及び予算（案）について
 - (2) 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について
 - (3) 定時定路線運行改善計画（案）について
 - (4) 松本市西部地域公共交通総合連携計画変更（案）について
 - (5) その他／観光周遊バス運行計画について
- 5 閉会（事務局小倉）

◎ 議事

- (1) 平成 23 年度地域公共交通協議会事業計画（案）及び予算（案）について

資料 1 に基づき、事務局から説明

・事業計画（案）について

- ① 乗り合いタクシー「あづみん（定時定路線を含む）」の運行
- ② 乗り合いタクシー「あづみん」の運行形態の検証
13 時便実証運行、定時定路線、ナイトラインほか
- ③ 観光交通（市外移動含む）及び福祉交通の検証
- ④ 公共交通サービス等に関する情報提供
- ⑤ その他安曇野市地域公共交通総合連携計画推進に関する事業

・予算（案）について説明

奥山幹事長：予算については減額になっているが、合併前の町村で運行していた交通に要した経費の範囲内で、各地域でサービスの差がないようにサービス向上に向けて政策を展開していきたい。予算案には補助金が計上されていないが、22 年度までは国の補助金を受けていたため、市としては財政的に余裕を持った交通政策を展開できていた。23 年度以降の国庫補助については確定していないため、とりあえずの予算を組んでいる。意見、質問をいただきたい。

安藤委員：平成 23 年度事業計画案について、もっと事業内容を細かく、丁寧に表示すべきである。

事務局：事業計画案に詳細な説明を加え、3 月の協議会に提案したい。なお、細かなデータ提供を希望する方は、連絡をいただきたい。

- (2) 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について

資料 2 に基づき、事務局から説明

- ・乗車人員の推移について目標値には達しないが利用者数は順調に伸びている。
- ・6 月の利用実態調査において「運行されて本当によかった」と回答した人があづみんが

82.6%、定時定路線が 86.1%と好評を得ている。

- ・ 実証運行 3 年目となる 22 年度は利用者からの意見や要望をもとに、運行時間や運行体制などを改善し、実施する。

宮崎委員：商工会の取り組みによって、豊科地域の利用者がどのくらい増えたのか、具体的に内訳ごとの推移が分かるような資料がほしい。事後評価の添付資料として、例えば免許返納者の増加によってどれだけ高齢者利用の増加につながったのかなど、あづみん運行の成果について経年データを活用して裏付けてはどうか。

事務局：過去のデータをもとに次回の協議会でお示ししたい。

中村委員：事後評価の 5 ページ 22 年度の目標額を期間で按分して表示すべきである。事後評価 4 ページ、4 項の 2 に従前の公共交通事業費内の予算で実施していることや運賃収入の状況なども盛り込むべきである。また、予算書に利用収入が差し引かれていることを注釈すべきである。

事務局：目標額については、年度額になっているので按分して表示していきたい。

従前の交通関係予算の範囲内で、現在の事業費が賄えていることや利用料収入については、タクシー事業者からの請求額からは差し引かれた金額になっていることを予算書に表示したい。

奥山幹事長：料金は細かい計算になっているので、できるだけ見やすい資料をお願いしたい。事業評価については注釈を加えてわかりやすく表示してほしい。5 ページについては表記を確認してほしい。事業評価は国に提示し、年度末の協議会に結果を報告いただきたい。

(3) 定時定路線運行改善計画（案）について

資料 3 に基づき、事務局から説明

- ・ 高校生の通学や部活の時間に合わせた変更
- ・ 利用数が少ない路線の廃止
- ・ 乗り込み調査により要望が多かった時間帯の便の追加
- ・ JR のダイヤ改正に伴う変更

奥山幹事長：質問等いただきたい

<質問なし>

奥山幹事長：資料 3 の実証運行に基づいての改善案を提案させてもらったが、幹事会として承認することではよろしいか。

<承認>

(4) 松本市西部地域公共交通総合連携計画変更（案）について

資料 4 に基づき、事務局から説明

- ・ 松本市西部地域の変更計画区域に安曇野市（三郷、豊科地区）が対象となるため、安曇野市の幹事会の意見を聴取したい
- ・ 松本市では変更計画案について 12/25 から 1/24 までパブリックコメントを実施している。2 月には連携計画が作成される。4 月から運行ルート案を検討開始し、8 月の運行開始を目指している。

【連携計画に関する意見】

耳塚委員：住民がコミュニティバスを JR 梓橋駅へ接続してほしい理由は何か。

事務局：松本市からの説明では、松本市梓川地区住民へ交通実態調査等を実施したところ、大糸線へのアクセスを良くするため、現在 JR 一日市場駅へ乗り入れしているコミュニティバスを、JR 梓橋駅へ乗り入れしてほしいという住民要望があると聞いている。

耳塚委員：それでは、JR 一日市場駅を外して JR 梓橋駅だけに接続したらどうか。

事務局：具体的な運行ルートは決定しておらず、一日市場駅への接続を廃止して JR 梓橋駅に接続するルート変更はこれからの検討課題となる。運行ルート変更になった場合、市をまたがる計画になるので、事前に安曇野市の了解が必要になる。

耳塚委員：JR 梓橋駅へ接続する理由が、明確ではない。

事務局：現在の八景山公民館から JR 一日市場駅への運行ルートを、住民要望により、乗り入れ先を JR 一日市場駅から JR 梓橋駅へ変更したい、ということである。JR 一日市場駅と JR 梓橋駅両方の駅へ乗り入れることはないものと想定される。

耳塚委員：JR 梓橋駅へ行きたいということであれば、三郷地域への乗り入れを廃止して豊科地域に

乗り入れるということになる。タクシー事業者の立場としては、現在の運行ルートより新ルートになった場合、タクシー営業へのマイナス面は軽減されると思う。また、健常者にとっては、JR梓橋駅へ接続した方が便利かもしれない。

奥山幹事長：当初、JR一日市場駅へコミュニティバスを乗り入れたいと協議があったときは、高齢者にとっては、JR一日市場駅の方がJR梓橋駅に比べて使いやすいという理由であった。ところが利用促進を図るために要望調査をした結果、JR梓橋駅への乗り入れ希望が多かったため乗り入れ駅を変更したい、ということであろう。

事務局：4月以降、本格的に松本市西部地域公共交通協議会で協議に入るが基本的には住民要望に応えるような運行ルートを検討したいとのことである。

奥山幹事長：以上の意見を松本市に出していきたい。

委員意見は以上のとおりで、松本市西部地域公共交通総合連携計画変更（案）を了承した。

(5) その他

観光周遊バス運行計画について、タクシー協議会より経過報告（安曇野市観光部が欠席のため）

- ・ 安曇野市観光協会を中心に運行している
- ・ NHK連続テレビ「おひさま」の放映もあり、運行ルートを検討中である。ほかに大王わさび農場中心としたルートや、ピフ穂高を中心とした穂高温泉郷、あづみの公園のルートを1日に6運行を検討している。また、観光客が多く見込まれる土日や夏の最盛期にちひろ美術館のルートの増発便を検討している。運行日数は4月16日から10月30日の198日間は毎日運行する。そのうち土日・祝日及び夏休み期間の約99日間は増発便を含めて1日3便と協議を進めている。周遊バスも今年は3年目であるため、利用推進を図り、成果をあげたい。

奥山幹事長：何か要望等いただきたい

宮崎委員：信州デスティネーションキャンペーンが11月まで延長されたが、その効果はあったか。

耳塚委員：安曇野市が主体で10月から通常周遊バスの逆コースで運行した。11月と12月は通常のコースを土日主体に行ったが成果はなかった。パンフレットがなかったことや、利用者が知らなかったことから、PR不足、周知不足が利用者の伸びなかった原因ではないかと思われる。また、礪山美術館へは駅から徒歩で行ったものと推測する。

宮崎委員：データを含めて、情報提供を早めをお願いしたい

奥山幹事長：以上議題1から5まですべて承認し、終了する。

事務局：以上をもって本日の会議を終了する